

12 番 富 田

受付番号第5号、質問議員12番、富田陽子です。

件名、「射撃訓練の騒音調査の要望を」。

要旨。昨今自衛隊は、全国的に地震、台風等の災害時において重要な役割を果たしている。

一方で、陸上自衛隊東富士演習場からは、訓練があるたびに砲撃の騒音が鳴り響き、住民の生活に苦痛をもたらしている。総合火力演習が行われる際は、特に騒音や振動がひどく、建具ががたつく、寝ていた赤ちゃんがびっくりして泣き出すなど、清水地区の一部から苦情が多く寄せられている。

榴弾砲射撃訓練で響く音は、低周波音が含まれ、不快感や圧迫感など心身に係る影響のほか、窓や戸のがたつきなど建具等への物的影響も多い。住民が南関東防衛局に電話をかけても局内の各担当間を巡らされてしまい、実情が伝わり切れていないところでもある。また、低周波音を測定する精密騒音計は高額で手に入りづらく、住民個人が購入し数値を測定するのも困難である。

演習は国防として必要であるが、静かな山奥に突如鳴り響く轟音は、安心した住民の暮らしを脅かしている。町としても住民の声をまとめ、届ける等取り組む必要があると考える。

そこで質問する。

1、管轄の南関東防衛局に騒音の調査、現地確認を要望するべきでは。

2、町として防音に取り組む考えは。

議 長

答弁願います。

町長。

町 長

それでは、富田陽子議員から「射撃訓練の騒音調査の要望を」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「管轄の南関東防衛局に騒音の調査、現地確認を要望するべきでは」についてであります。陸上自衛隊東富士演習場は、静岡県御殿場市、裾野市及び小山町にまたがる演習場で、日々実施される訓練に加え、富士総合火力演習も行われております。自衛隊が実施する訓練は、自衛隊法第3条に定められた「平和と独立を守り、国の安全を保つため、我が国を防衛する任務」を遂行するために必要な技術・練度を維持するために

必要不可欠なものとなっており、その観点から東富士演習場は国の重要な施設となっております。

東富士演習場の訓練等に伴う射撃音は、演習場が所在する静岡県御殿場市、裾野市及び小山町周辺はもとより、隣接する本町や相模原市などにおいても、その音響が到達している状況です。射撃音が遠くへ到達する理由としては、複数の砲弾が着弾したときの爆発に伴う急激な気圧変化によって、空気の振動が発生し、衝撃波となって空気中を伝播するためと考えられます。遠くへ到達する音の成分の多くは 20 ヘルツ以下の超低周波となるため、人間の耳では聞き取りにくくはありますが、その波長は建物の大きさと共振しやすくなるため、直接聞こえる音よりも、建物を揺らして発生する音が大きく感じられることもあり、さらに風向きや周辺の地形などの外的要因によっても影響すると言われております。このため、防衛省南関東防衛局では、演習場所在市町域内 7 か所に砲撃音自動測定装置を設置し、その測定結果に基づいて住宅防音工事助成の補償を行っておりますが、その範囲は御殿場市、裾野市及び小山町の一部地域にとどまっており、山北町域には及んでおりません。自衛隊の砲撃音による騒音・振動については、年に数件の問合せが寄せられるとともに自治会要望でも要望いただいておりますが、昨年度に現地確認等を行った段階では、継続的・常態的に騒音や振動がないことや、防衛省の防音対策事業を総合的に勘案し、国に対して何らかの対策を要望できる状況にはないと判断しているところです。

今後、自衛隊演習による騒音・振動に起因する具体的な被害が発生、または発生する可能性がある場合には、事実確認及び因果関係等も含め、詳細な調査が必要であると認識しておりますので、その際は、防衛省南関東防衛局に対し、現地調査等の要望について検討をまいります。

次に、2点目の御質問の「町として防音に取り組む考えは」についてであります。東富士演習場における訓練に起因する防音対策につきましては、国の対策を総合的に判断する必要があるため、町独自で取り組む考えは現時点ではございません。

議長 12 番、富田陽子議員。
12 番 富田 では、再質問をさせていただきます。

この回答には、年に数件の問合せが寄せられているとともに自治会要望でも要望いただいておりますとありますが、具体的にはこういった内容の要望だったり問合せなのか、教えていただきたいです。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 まず、苦情でございますけれども、年に四、五件ぐらいの問合せといたしますか苦情でございます。地鳴りのするような音がしているとか、音がうるさいのとか、同一の方なのか、複数の方なのか、これはちょっと今分かりませんけれども、そういったお話がここ二、三年いただいているところでございます。また、自治会要望につきましては、令和4年度の自治会要望で、湯触地区、谷戸諸淵地区、玄倉地区で要望いただいております。

主な内容としますと、湯触地区につきましては演習時の空気振動に対するの対策について。また、谷戸諸淵につきましては、音がするんであれば事前にそういったものを周知してほしいという要望でございます。

3つ目、玄倉につきましては、夜間の演習、これが非常にうるさいということで、この自粛というような要望をいただいているところでございます。

議 長 富田陽子議員。

12 番 富 田 その問合せやその自治会要望でいただいた案件に対しては、町としては、どのように回答や対応をされているのでしょうか。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 自治会要望の回答でございますけれども、まず、こちらのほう、湯触地区の演習時の空振、それから玄倉地区の夜間の演習の自粛でございますけれども、町長の答弁にもございましたけれども、こちら国が国防のために実施するということでございますので、これに対して町のほうで自粛というような要請というのは、なかなかこれは難しいという回答をさせていただいております。

また、谷戸諸淵の事前のそういった情報提供ということにつきましては、本年の2月15日にホームページをアップしまして、訓練の状況が分かる、要は管理所管してます南関東防衛局の連絡先等、それから所管しています富士学校の演習場のホームページをリンクをさせていただいて、そちらをクリックしていただきますと、いつ演習が行われるのとかということとは分かるよう

な形で対応させていただいているところでございます。

議 長 富田陽子議員。

12 番 富 田 対応については、今理解いたしました。この回答にあります、この具体的な被害が発生、または発生する可能性がある場合には詳細な調査が必要であると認識していますという回答がありましたが、この具体的な被害が発生また発生する可能性があるというのは、町では誰がどのようにそれを被害だと認定、あるいはこれが被害だというふうに認識するのでしょうか。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 具体的な被害ということでございますけれども、実際にお寄せいただいている、要は状況の中で、例えば爆撃音とか、そういった騒音の中で、非常にこれに対して身体的な影響が出てるとか、要は夜眠れないですとか、めまいがしてしまう、頭痛がするというような、そういった身体的に起きる状況とか、そういうのがある場合とか、また、建屋が空気振動によりまして割れてしまったとか、戸が壊れるということはないですけど、瓦が落ちたとか、そういうようなことがあれば、そういったところを聞き取りをしながら、そういう状況を一応確認をしていくということでございます。ただ、実際には、この判断のところは因果関係というものが確実に自衛隊の演習によるものかということについては、これは科学的にいろいろ調べなきゃいけませんので、まずは最初の段階としましては、初動対応としましては、まずはそういった状況を、まずは確認させていただくという中で、町としてしっかりと、また神奈川県とか、そういう専門的なところにもこういった話をさせていただきながら、内部で整理していくというような考え方でございます。

議 長 富田陽子議員。

12 番 富 田 数件のその問合せが寄せられたり、自治会要望でも上げられているということは、具体的にその身体的な影響があつたりして、苦痛だからこそ大きくこの個人ではなく自治会要望という形で町に来ていると思われるんですけども、それを被害だというふうには認識されないのでしょうか。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 まず、この苦情を寄せられたところにつきましては、当時、総務防災課の

ほうが所管してましたので、そちらのほうの職員が現地に行って、状況を伺ったりしてございます。

そうした中で、これは今年の3月の17日なんですかね。富士学校の渉外担当の方も、要は現地にお呼びして、現状のほうを確認をいただいているというような対応をさせていただいています。その際に、担当課のほうに一応連絡をしますよということで、連絡をするということでそのときは帰ったと。その後回答としましては、今現状を見た中で状況の中では、個別の対応はちょっと難しいのかなと、ただ、そういうお困りの案件については、ここに連絡をしてほしいということで、窓口をしっかりとお伝えをさせていただいているということです。今議員の御質問の中で、要は、町はこういう被害の苦情があっても何もしないのかということではなくて、既にそういう現地に行って、また関係する自衛隊の方も見ていただいて、それで対応先をどこかというところの窓口もお伝えをしているというようなのが、今までの経緯でございますので、一応今そういった考え方で、今対応させていただけるのが今現在の状況でございます。

議 長
地 域 防 災 課 長

地域防災課長。

恐れ入ります。先ほど総務防災課といったような名前も出ましたので、私のほうからちょっと補足をさせていただければと思います。

昨年度の地域要望で、自治会要望ですね。出ました対応が、実はうちの元の総務防災課のほうで対応させていただいておりますので、その内容を簡単に御説明させていただきます。

うちの職員が、結果的には同じように、国に対しての対策を何らか要望できる状況にはないという回答をさせていただきました。ただ、そこに至るまで何度か、演習のある日というのは把握できますので、何度か今日は音がしているなということで現地へ出向いて、その住民に寄り添って実際に音を聞いたり、お話を聞いたりといったことをさせていただいております。それが一度、二度ではなく、約10回、3月までの間に行かせていただいております。

質問の中にもありましたとおり、電話がたらい回しにされたとか、そのような話がありましたので、そのときにうちの担当から、今後の騒音の苦情等

につきましては、南関東防衛局の誰誰、担当者まで指名をして、お電話番号もお渡しした経緯があります。

それから、何度か現地を確認させていただいてという間に、たまたまうちのほうの職員、防災官という自衛隊のOBがいらっしゃいますので、そこから富士学校の演習場の管理課、渉外担当の方に一度来ていただいて、一緒に現地確認をさせていただいております。確かに、私どもも、ここでも聞こえますけど、確かに音はしております。ただ、小山町とか御殿場とか、そういうところに比べますと、やはりどうしても数値が低いということで、詳細な騒音調査までは至らないという返事をいただいた中で、大変申し訳ないんですけど、個別の現地確認要望には応えられませんといったような回答をさせていただいた次第でございます。

議 長 富田陽子議員。

12 番 富 田 約 10 回ほど現地を訪れて確認されたということですがけれども、例えば先月の5月の総合火力演習のときも現地を確認に行かれたのでしょうか。5月の総合演習の報道では、結構、国内最大規模の訓練であり、射撃や砲撃の訓練に加えて、オスプレイも一緒に訓練を行ったということで、かなり大規模な総合演習だったと思われまして。そういう一番大きな火力演習みたいな、そういう音が響くときに現地を確認に行かれたのかどうか、ちょっと確認させてください。

議 長 地域防災課長。

地 域 防 災 課 長 今年の5月28日の総合火力演習には、特段ちょっと現地には確認は行っておりません。一応うちのほうでも把握している中で、4月の22日から5月の21日まで、いついつどこであるということはお知らせはできませんが、この間にかかなりの練習をしますよというのはホームページ等で周知をされております。そういった中で、幸いなことに、おそらく皆さんもあれだと思っておりますけど、この5月はそんなに音がなかったというふうに感じております。もし何か感じるものがあつたらすぐ出向いて、現地等も調査しようとは考えていたんですが、幸いなことにこのところは風向きのせいかなのか、それほど感じることはなかったもので、5月の火力演習の際も行ってはございません。

議長 富田陽子議員。

12 番 富田 今回この一般質問に当たって、苦情の声が一番大きかった清水の湯触地区を中心に4自治会 51 世帯を対象に、この自衛隊の東富士演習場での訓練に伴う生活への影響の実態というのを把握するために、アンケート調査を行わせていただきました。51 世帯のうち 46 世帯から回答が寄せられまして、回答率は約 90%でした。調査内容では、訓練の音や振動がどれぐらい気になるか、その音や振動によって心身に係る影響や家屋の影響について等、八つの質問を行いました。

音についての回答なんですけども、「とても気になる」という回答が 61%、「少し気になる」という回答も含めると 83%の方が訓練の音が気になると感じていました。振動については、「とても気になる」という回答が 57%、「少し気になる」という回答を含めると 77%の方が振動が気になるというふうに感じていられます。そして、「音や振動に対する心身に係る影響はあるか」という問いに関しては、「とてもある」という回答が 28%、「少しある」という回答を含めると、心身に係る影響があると 68%の方が答えています。そして、「音や振動に対する家屋に係る影響はあるか」という問いに対しては、「とてもある」という回答が 30%、「少しある」と含めると 58%の方が家屋に係る影響があると回答しています。具体的に心身に係る影響というのをお聞きしたところ、「早朝より演習があり、寝不足で体調が悪くなる」ですとか、「いきなり爆発音が聞こえ心臓が止まりそうになる」、「子どもがやっとな寝ついたと思ったら、音で起きていらいらした」とか、「寝てられない」、「子どもが怖がる」、「夜勤明けの昼寝ができない」といった影響があると回答をいただきました。さらに家屋の影響についてですが、「振動でサッシが多少ゆがむ」、「敷地のコンクリートには割れ目ができた」、「ガラス戸がかなり揺れる」、「ガラス戸がびびびとひどくすごく揺れる」、「家のサッシががたがただ」といった回答が寄せられました。約 80%の世帯で音や振動が気になり、そして半数以上の方が影響があるというふうに回答されました。この結果を見ますと、これかなり影響、その被害がないと言えないというか、要望するに値するほどの公害だと私は考えたんですけども、その辺はどうお考えになりますでしょうか。

議 長 環境課長。

環 境 課 長 今議員のほうで、独自でアンケートを取られたということで、その結果のお話を今いただいたところで、ちょっと今そういうお話を聞いて、私のほうもそういう実態があるのかということを知ったところでございます。ただ、そもそもこの自衛隊の演習自体が環境の規制のかかるものではないと、要は騒音規制法ですとか振動規制法の規制に、要は工場の事業活動ですとか、また特定作業、要はショベルカーとかそういう重機を使ったものとか、そういった本来規制のある対象であれば、当然環境基準、規制基準ですね、音の基準というのはございますので、それでそれを越えている場合であれば、当然そういった指導をすると、要は行為者に対して、そういうことを言う、やるということになるんですけども、今回のこの自衛隊の演習についてはそういった対象になってございませんので、例えば音がどれぐらい出ているといっても、それについては規制の対象ではないというのが今現状でございます。ただいま、議員から言われている、そういうお困りになってるというのは、現状は今ここで初めて把握したところでございますので、今後そういうことについては、また再度確認をさせていただく必要があるものとは考えているところでございます。

議 長 富田陽子議員。

12 番 富 田 国のその訓練に対しての規制の基準がないということで、ないからこそ、こういった声が数値ではなく声で寄せられて、初めて動くべきことなんではないかなというふうに私は考えます。ですので、ぜひこの結果を基に、これまでも現地調査で調査の要望するには値しないということですけども、やはり再度防衛局へ調査を要望していただけたらなと思うんですが、そこはいかがでしょうか。

議 長 町長。

町 長 本当に、火力演習とか様々なときに、地域の皆さんに御迷惑をかけているというふうには思っております。今要望というようなことですので、事務レベルでは、担当者レベルでは今のことを伝えておきたいというふうには思いますが、ただ、毎日騒音がするとか、そういったようなことではないということで、なかなかそこまで対策を取れるというようなことはあまり、難

しいだろうというふうに思っております。

それと、一回確認しておきたいんですけども、災害時に自衛隊の協力というんですか、災害救助というのは、非常に皆さん評価していただいております。そのことと演習が無関係ではございません。やはりああいったような実弾を使ったり、そういったような緊張の中でやるのが災害時の救援のときにも、唐突とか様々なもので影響が出てきます。ですから、やはり、私もかつて射撃をやっておりましたが、実弾を撃つというのは不発弾もありますし、相当緊張するわけですよ。ですから、そういったようなことは災害救援とか、そういうのにもなりますし、そういったようなことも含めて、担当者レベルでは伝えようというようには思いますけども、その結果、なかなか今、御殿場、裾野、小山の一部までしか騒音対策のエリアに入っておりませんから、それを多少広げたにしても、ちょっとなかなか山北までは来ないだろうというふうに思います。皆さんの本当に御不便は感じておりますので、私としては、できれば地域の中で、今自治会のほうに使い勝手のいいものを継続して出しておりますけど、こういったことを続けながら、皆さんへなかなか行政で対応できないところを何とか地域でカバーしていただけたらありがたいなというふうに思っております。

議長 富田陽子議員。

12 番 富 田 この自衛隊の災害時の協力というところは必ず必要なところになってくると思います。このアンケートの調査の結果でも、自衛隊に対する印象は「非常によい」「よい」と答えた方は60%で、やはり自衛隊に対する印象はいいけれども、音に関してはやっぱり別もので、自分たちの生活に対して常態的ではないにせよ、突然来るといふ恐怖といいますか、びっくりするとか、そういうことに対してはやはり何らかの対応、対策を求めてほしいという声がありました。

アンケートの項目で、この「町を通して自衛隊要望を望みますか」という答えには70%の方が「望む」と回答しています。具体的な要望で一番多かった内容としては、現地の音や振動の調査でした。2番目に多かったのがこの防音や防振に対する助成金でしたが、これも調査なしには不可能なことだと思います。湯触とか大蔵野地区というのは、一番この演習場と標高も同じく

らいで、演習場から遮るものがなくて、真正面から演習場が見えるようなロケーションです。透間の砂利の採取によって山が削られてから、さらに音がうるさくなったという、そういう声も多数ありました。ですので、御殿場とか小山市にお住まいの方よりも地理的に衝撃が多い可能性もあると考えます。これまで山北まで助成金が及ばなかったというのは、昨年はこの調査を行われた、現地確認が行われたということですが、これまで声が届いてなかったという要因もゼロではないのかなと思います。そういった意味もあり、国へ調査の要望をしないのであれば、町として独自に被害がひどい地区だけでも調査を行っていただけないかなと要望するんですが、いかがですか。

議 長

町長。

町

長

繰り返しになりますけども、地域の皆さんの御要望というのを、本当に町としても受け止めなきゃいけない。しかし原因が東富士の演習のというような、音の被害というようなことになっておりますので、それを直接町の対応で何かする、要するに、今のアンケートの結果は、担当者レベルでは伝えようというふうには思っておりますけども、それに対して町のほうで直接何かできるというようなことはなかなか難しいんだらうというふうに思っておりますので、ぜひ自治会のほうで知恵を出していただいて、それに対して、町のほうは助成はできるというふうに思いますけども、直接国がやっている、そういった騒音に対して直接的に町の助成というか、それはなかなか難しいんだらうというふうに思ってます。過去に私は会計事務所にいるときに、新幹線の騒音のところをかなりやりましたけど、ここまでならできる、この1軒向こうは音がするけども、補助金が下りないというのはいくつかやりました。そういったようなこと等を考えますと、やはり情報は情報として伝えなきゃいけないけども、そのところを騒音対策を、町のほうの直接の経費ではなかなか難しいというふうに思っておりますので、その辺は御理解いただければというふうに思っております。

議 長

富田陽子議員。

12 番 富 田

今難しいという回答をいただきましたけれども、困られている住民一人一人が調査をするというのも大変難しい問題だと思うんですね。低周波音の装置の機器というのは50万円ほどするものだというので、レンタルしても

1台10万円ほどするというので、やはり困られている方にとっては何かしら、今回私もその数値では表すこともできませんでしたが、何かしらの助成金ではなくとも、ちゃんと定期的な現地の音の確認ですとか、そういうものとかも求めていることだと思うんですね。調査ができないとなると、町として皆さんの意見、問合せ等の窓口、そういうものを、苦情の取りまとめの窓口をぜひ設置していただけないかなと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

議 長
町 長

町長。
担当者レベルで調査をしてほしいという要望は伝えようというふうに思っております。これこれこういう事実があるから、ぜひ調査してほしいというのは要望があるということは伝えようと思いますけど、その結果として、調査ができるかどうかというのはちょっと確約もできませんし、また、なかなか難しいんじゃないかなというふうには個人的に考えております。

議 長
12番 富 田

富田陽子議員。
担当者レベルで話していただけるということですけども、今回そのアンケートの中で、御自身でそれぞれが対応したかという質問に対しては、「いいえ」と答えた方が80%、「いいえ」と答えた方に、なぜ御自身で影響に対して対応しなかったかと理由を聞いたところ、一番多かったのが、「言っても無駄だと思うから」とか、「相手が国じゃかなわない」とか、もう皆さん諦めているところなんですよ。「はい」と答えた方の中にも、「何回も電話しましたが、個人の苦情は聞き入れてもらえないから、町を通してくれと言われた」という回答がありました。個人の苦情や要望というのはなかなか防衛局に取り合ってもらえないという状況があるかと思えます。航空機の騒音がある自治体とかでは、ホームページ上に声を受け付けるページがあったり、ここの担当課に連絡してくださいと、問合せ先が明記してある自治体もございます。今後その担当者レベルでお伝えしていただくということですけども、なかなかその後が期待できないということもありますので、ぜひ町としてその苦情、この自衛隊の音に対する窓口の設置みたいなのをお願いしたいと思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

議 長

町長。

町長 いろいろな方法があるというふうに思ってます。町から頼むという方法も、もちろん一つあるかもしれませんが、今のは担当者レベルのほうで、しっかりそれを伝えていきたいのが一つ、あとは富田議員は議員でありますので、それを最大限生かしていただいて、その中で請願とか陳情とかというのは国に出すことはできるというふうに考えております。

議長 長 富田陽子議員。

12 番 富田 本来は町が調査をすることでもなく、国というか防衛局がやるべきことだと私も思いますが、この演習場周辺の自治体の住民の声を一人一人、防衛局が声をすくうというのはなかなか困難だと思うんですよね。声が届かないと、何とも思っていないとか影響がないと思われてしまうと思うんです。私は町の一議員として、一部の地域の声を集めて町に届けているんですけども、町は、その声を上に上げて届けていくというのも、地方行政の役割の一つだと私は考えます。今国はどんどん防衛予算上げようとしていますし、これまで低空飛行ではなかったヘリコプターとかオスプレイが、今大分低いところで飛んでいたり、今後もどんどん演習も過激になっていくことも予想されると思います。そういったときに、国のことだから、じゃあ何もできないではなく、やはりこの自治体レベルの声を集めて上に上げていくというのが、地方行政としての役割の一つだとも考えるので、国防ですとか、だから仕方ないということは決して考えないでいただきたいと思うんですが、そこら辺はいかがでしょうか。

議長 長 町長。

町長 何度も申し上げたとおりで、本当に住民の皆さんに、本当に御迷惑をかけているということは重々承知しておりますし、また、そのためにアンケートも取っていただいて、そういうようなことがあったということですから、そのことをしっかり伝えていかなければいけないというように思っておりますけども、我々としては、町として要望することになると、毎日騒音がひどいとか、実際実害がこういうふうにあったとか、そういうようなことの中での要望ということになるというふうに思いますので、今の富田議員の要望ですと、騒音を調べてほしいというようなお伺いですから、それについては、ぜひ議員として、あるいはそういうような地域の中での形として出して

いただいて、我々のほうはそれを精査したいというふうに考えております。

議長 富田陽子議員。

12番 富田 議員としてもやれるだけのことはやっていきたいとは思いますが、玄倉でしたっけ、自治体で事前に知らせてほしいという自治体要望があったということで、それをホームページに掲載して知らせるということ、今年の2月にされたということなんですけども、これは今後も続けていただけることなんでしょうか。

議長 環境課長。

環境課長 今現在、ホームページを御覧いただきますと、関連リンク先ということで、常時、富士学校のホームページがリンク先になってございますので、リアルタイムにそちらのほうにアクセスしていただければ、状況は全部把握できるような状況になってますので、その窓口の部分のところはずっとこの形で、ホームページでは開設していくという考え方です。

議長 富田陽子議員。

12番 富田 山北町も高齢率が高くて、なかなかホームページをチェックされる高齢者の方も多くはないと思うんですね。ホームページに掲載されているということはありがたいことですが、例えばこの安心メールとかで訓練の日程を事前にメールで流すとか、そういったことも一つ考えられると思うんですね。町に対して自衛隊へ要望を求める内容で、3番目に多かったのが「訓練日時を事前に知らせてほしい」という要望が多かったです。アンケートの中には、この「地震や新東名の工事と勘違いする」という声もありましたし、「訓練と分かれば納得する」という意見もありましたので、事前に訓練が何日から何日まであるよというのが分かれば、心積もりとして心の準備ができていれば、突然の音にそこまでびっくりしない可能性もあると思うんですが、そこら辺は、御対応はどうでしょうか。

議長 環境課長。

環境課長 事前の周知の部分でございますけれども、こちらが把握できるものであれば、あんしんメールとかということも可能だとは思いますが、年間を通じての訓練だったりですとか、訓練内容によって、例えば火力演習がある前ですと、要はさらにそれに近寄った訓練になるということもあると思

ますので、なかなか毎回毎回あんしんメールで上げていくというのは、受ける側としては、ちょっとそこは逆にかえって過度な負担になるのかなんていうこともございますので、どういう形がいいかについては、もう少しちょっと町としても検討しながら対応をしていきたいというふうに考えております。

議 長 富田陽子議員。

12 番 富 田 せめて一番音が大きいその総合火力演習のとき、2週間とか大体日程が決まっていますので、そこで時間帯と日程を知らせていただければ、何時から始まるというのを知らない方も結構いらして、夜間まで、最近ですと6時半から22時まで行われてるとというのがホームページに出ていましたけど、その辺の情報も伝えることによって、少し心身にかかる負担というのは少し減っていくのではないかなと思うので、検討していただければと思います。

議 長 町長。

町 長 せめて、総合火力演習の騒音については、多分情報が先に上がると思いますんで、そういった意味では防災無線とかあんしんメールで、もちろん全体に流したほうがいいのか、部分的に流したほうがいいのか、そういったことは検討しなきゃいけないとは思いますが、ぜひそういったような総合火力演習については何とか情報を流したいというふうに思っております。

議 長 富田陽子議員。

12 番 富 田 最後になりますが、これまでこちらから知らせとか要望をとかという形でしたが、例えばですけど、自衛隊のこの訓練というのがどんなことが行われているかとか、具体的になぜその訓練が必要なのかとか、そういったことを住民が知って理解する、そういったことも一つ必要なんではないかなと思います。例えば自衛隊協力会では、このコロナ禍の前ですと、視察とか訓練を見に行ったりということがあったと伺ってますけれども、自衛隊協力会だけじゃなくて、この山北の住民に自衛隊からこういう訓練を行っているんだよという説明が行われたりとか、実施にその視察に行って、この内容を住民に理解してもらうことで、こういった精神的な苦痛ですとか、そういうことが少し和らぐといたしますか、お互いの自衛隊との相互関係というのもよくなるのではないかなと思います。これまでよりヘリコプターとかオスプレイとか

も往来が多くなっていますが、その理由とかも、ちゃんとその住民に説明することによって、ただ単に苦情を言うとか文句を言うだけにはならないと思うんですね。そういったことを自衛隊に対して言っていたらいいなと思います。

議
町

長 町長。

長 毎年、今年も自衛隊協力会の方も招待されていると思いますけど、駒門の夏祭りとか、富士学校のいろいろな行事というのが来ます。そして、例えば夏祭りなんかは一般参加が多分できると思いますんで、ぜひ一回行っていただいて、自衛隊の人たちとそういった情報交換をしていただければ、非常にありがたいかなというふうに思っております。